

様式

技術名称	ドリリングプレス工法	技術の分類	鋼管矢板(鋼管) 中掘圧入	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	KT-100011-A
会社名等	伸栄 株式会社	担当者	早川 浩之	連絡先	0436-22-1133
技術の概要	<p>硬質地盤で鋼管矢板の自走式圧入が可能となり、適用範囲拡大、工期短縮・コスト縮減ができる。</p> <p>懸垂式特殊オーガーで鋼管矢板先端以深の地盤をほぐし、先端抵抗を低減することで硬質地盤への鋼管矢板の自走圧入を可能にした。</p> <p>圧入する鋼管矢板にオーガー反力を取り、先端ビット、オーガー、ケーシングの組み合わせを工夫し排土量を低減させた。</p>			添付資料	<p>パンフの有無</p> <p>有</p> <p>その他の資料</p> <p>NETIS登録時の資料</p>
技術の特徴	<p>①作業構台のコンパクト化。 自走式鋼管圧入機は施工済みの鋼管矢板(鋼管)上を自走圧入する為、設置スペースが必要な大型重機はクレーンのみとなる為、作業構台(作業スペース)がコンパクトになり、狭い場所や大規模な構台の設置が不可能な箇所において施工が可能となった。又、仮設費用の削減となり、工期短縮に繋がる。</p> <p>②硬質地盤条件下での施工が可能。 換算N値210の硬質地盤の圧入実績。 特殊オーガ装置により廃土の量は鋼管矢板内土砂の約7%の排土。(NETIS登録時実験データによる)</p> <p>③泥水処理が不要。 従来の鋼管矢板(鋼管)の圧入は、長さ15m・N値15以上になると補助工法(ウォータージェット)が必要になり、大量の水が供給出来ない場所・泥水処理が難しい場所・汚染土壌での施工は難しかったが、これらの条件下での施工が可能となった。</p> <p>④環境にやさしい、低騒音・低振動工法。 施工は油圧圧入の為、低騒音(84dB以下)・低振動(74dB以下)工法となり、都市部での施工に適している。</p> <p>⑤施工適用範囲 鋼管矢板(鋼管)径 Φ600～Φ1500 圧入長 30.0m(平成24年7月現在実績値) 地盤条件 換算N値210までの、礫・砂質・シルト・軟岩の土質で摘要 巨礫・玉石(径250以上)及び上記摘要範囲外は別途相談願います。</p> <p>⑥従来不可能であった高低差のある施工が可能。 鋼管圧入機は自走式であり、特殊オーガ装置は懸垂式の為、施工ヤードから高い位置への施工、また低い位置での施工が可能となった。</p> <p>⑦港湾・空港事業への摘要性 水門改良工事・堰堤・護岸工事では陸上施工・台船(水上)施工において、鋼管圧入機は施工済みの鋼管矢板(鋼管)上を自走する為、大型重機の設置は最小限となり、作業スペースのコンパクト化が可能となる。 *技術の特徴①参照</p> <p>⑧安全性 自走式鋼管圧入機は施工済みの鋼管矢板(鋼管)に固定される為、転倒する心配が無く、近隣への圧迫感が少ない。</p>			その他	<p>実績件数 ①国土交通省(技術活用パイロット) 3件 代表工事 北陸地方整備局金沢河川国道事務所 梯川低水護岸工事(平成24年1月)</p> <p>②東京都港湾局・建設局・他 9件 代表工事 浜前水門(改良)地盤工事(平成22年2月)</p> <p>③名古屋市長政土木 3件 代表工事 堀川改修工事松重(平成23年7月)</p> <p>④他自治体 6件 代表工事 首都高速道路(株)SJ51工区街路擁壁工事 (平成19年7月)</p> <p>平成24年10月現在 実績件数21件 施工中3件</p> <p>ドリリングプレス工法において、一部特許を取得しているが、特許料は発生しない。(積算に含まれている為)</p>

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。